

## 情報セキュリティ10大脅威 2025

IPA（独立行政法人情報処理推進機構）が、情報セキュリティにおける脅威のうち、2024年に社会的影響が大きかったトピックをランキング形式にて公開し、注意喚起を図っております。

### 第1位：ランサム攻撃による被害(5年連続)

順位	組織	昨年順位	
1位	ランサム攻撃による被害	1位	-
★2位	サプライチェーンや委託先を狙った攻撃	2位	-
★3位	システムの脆弱性を突いた攻撃	7位	↑
4位	内部不正による情報漏えい等	3位	↓
★5位	機密情報等を狙った標的型攻撃	4位	↑
★6位	リモートワーク等の環境や仕組みを狙った攻撃	9位	↑
7位	地政学的リスクに起因するサイバー攻撃	初選出	↑
★8位	分散型サービス妨害攻撃（DDoS攻撃）	5年ぶり	↑
9位	ビジネスメール詐欺	8位	↓
10位	不注意による情報漏えい等	6位	↓

出典：<https://www.ipa.go.jp/security/10threats/10threats2025.html>

### ★今年度の特徴★

2025年は「狙った攻撃」「突いた攻撃」「妨害攻撃」と標的を狙った攻撃が順位を上げております。



セキュリティ対策の具体的な基準を決めた方が良いとの考えから



そこで経済産業省がサプライチェーン強靱化に向けたサイバーセキュリティ対策状況を「格付け」する新制度のプランを発表しました。

経産省  
方針を発表

第1回検討会  
開催

第2回検討会  
開催

第3回検討会  
開催

新制度  
スタート予定  
(詳しくは裏面で)



2024年4月

2024年7月

2024年9月

2024年12月

2025年度中

出典：[https://www.meti.go.jp/shingikai/mono\\_info\\_service/sangyo\\_cyber/wg\\_seido/wg\\_supply\\_chain/index.html](https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/sangyo_cyber/wg_seido/wg_supply_chain/index.html)

# 経済産業省が検討するサプライチェーン強靱化に向けたセキュリティ対策評価制度の概要

成熟度の定義	一つ星 ★	二つ星 ★★	三つ星 ★★★	四つ星 ★★★★	五つ星 ★★★★★
対象事業者の実施イメージ			最低限実装すべきセキュリティ対策として、基礎的な組織的対策とシステム防御策を中心に実施	標準的なセキュリティ対策として、組織ガバナンス・取引先管理、システム防御・検知、インシデント対応等包括的な対策を実施	高度なサイバー攻撃にも対応可能なセキュリティ対策として、リスクに応じて必要な対策を実施
対策基準のベンチマーク	IPA セキュリティアクション		自工会・部工会ガイドレベル1	自工会・部工会ガイドレベル2～3 分野別ガイドライン等	ISO/IEC27001 等
確認方法	<b>自己宣言型</b>		<b>自己評価型</b>	<b>第三者認証型</b>	

★3つ以上の格付けすることによる効果

政府調達・補助施策等の要件化

取引先からの対応要請による活用促進

利害関係者への情報開示による対話の促進

IPAセキュリティアクション : <https://www.ipa.go.jp/security/security-action/>

自動車工業会ガイドライン : [https://www.jama.or.jp/operation/it/cyb\\_sec/cyb\\_sec\\_guideline.html](https://www.jama.or.jp/operation/it/cyb_sec/cyb_sec_guideline.html)

サプライチェーン強靱化に向けたセキュリティ対策評価制度の確認方法は「**自己評価型**」・「**第三者認証型**」です。自社のサイバーセキュリティ対策レベルを自社で把握する事、他の認証機関へ正確に伝えることが必要となります。制度が実施されることを想定して自社のネットワーク環境をしっかりと把握しましょう。



※本内容は未確定な部分もありますので参考としてご参照ください。

## ステークホルダーへの信頼感、安心感にもつながります。

これからのセキュリティ対策は、何をすれば良いの？



当社にご相談ください！

